

学校教育目標

自他を尊重し、夢と志をもち、未来を切り拓く生徒の育成

キーワード「自立」・「自己調整力」

めざす学校像

- 生徒の将来の自立をめざす学校
- 保護者・地域から「信頼され、応援される」学校
- 職員一丸となって課題解決する学校

めざす生徒像

- 夢や目標の実現に向かって努力する生徒
- 自他を大切にし、思いやりの心で接する生徒
- 主体的に学び、心と体を粘り強く鍛える生徒

めざす教職員像

- 生徒の努力を支援する教職員
- 情熱をもち、生徒のよさや意欲を引き出す教職員
- 常に学び、社会の変化に対応できる教職員

育てる力

□ 人を大切にする力

一人一人の存在や思いが大切にされる

□ 自分を表現する力

自分の言葉で伝え、相手の表現を聞く

□ 自分の考えをもつ力

主体性(自己思考・自己選択・自己決定力)を育む

□ チャレンジ(挑戦)する力

失敗を恐れない。粘り強さ・自己調整力を育む

□ 小中連携の強化【重中ブロック共通実践事項】

- ① 学習の構えの確立(学習の構え5か条)
- ② 学習環境の整備(カバン棚、机・イスの整頓、教室美化)
- ③ 家庭学習の習慣化(家庭学習時間の確保、読書の徹底)
- ④ 授業改善に向けた取組(「学び合い・振り返り」の実践)

□ 地域連携の取組

- SSVC+の活用による教育活動の充実
- 国分高校との探究学習での連携
- 校外生活指導連絡協議会の充実

【自立に向かう手立て】

将来的に **自立** させましょう。

(将来に渡って生き抜く資質・能力の育成)

そのために **自信** をつけさせたい。

(自己肯定感、自尊感情の涵養)

その自信を養うために **立場** で育てます。

(キャリア発達を目的とした教育活動)

「はい」…素直な心 「すいません」…反省の心
 「ありがとう」…感謝の心 「私かします」…奉仕の心
 「おかげさま」…謙虚な心 **【よい心を育てる「言葉」】**

令和7年度の取組 - 命を守り、魅力ある学校づくりへ -

取組1 学習指導

目標: 県学力学習状況調査→県平均超
 「授業がわかる」→50%以上

- 「主体的対話的で深い学び」の視点による授業改善 ※「課題の必然性・見直し」、「学び合い活動」、「振り返り」
- 計画的な演習問題の活用 (過去問やAIドリル・MEXCBT等の活用)
- 個別指導の徹底(解説と解き直し)
- タブレットの効果的な活用(校内・家庭)
- 学習習慣の確立 (※ 家庭学習100分以上70%超)

取組2 キャリア教育・進路指導

目標: 夢・目標への取組 生徒評価80%

- 立場に立たせ、自信をつけさせる指導
- 3年生の進路保障100%
- 生き方指導や体験活動の充実 (生徒会、3大行事、講話等の実施)
- キャリアパスポートの活用推進 (実践を通じた改善:次年度を見据えて)
- 探究学習の実践と生徒の主体的活動の支援 (総合的な学習の時間・特別活動等)

取組3 心の教育

目標: いじめ未解決0、解消100%
 「学校が楽しい」→70%以上

- 心理的安全性のある学級・学校づくり (よい心を育てる「言葉」の実践)
- 人権同和教育の充実 (職員研修、人権学習の実施)
- いじめの未然防止といじめの察知、迅速な対応 (しない・させない・許さない・見逃さない)
- 教育相談の充実(定期2回・随時)

取組4 生徒指導

目標: 新規不登校生徒数10人以下

- お互い認め合える学級づくり (傾聴、認め・褒める取組)
- 不登校対策委員会の充実 (未然防止・早期発見・早期対応)
- 主体的な生徒会活動の推進 (企画力と実践力、調整力の育成)
- 生徒指導体制の徹底・報連相の徹底

取組5 体育・保健指導

目標: 新体力テスト2種目以上改善
 う歯治療率→60%以上

- 実態に基づく一校一運動の実施 (補強運動の改善、体力テスト2回実施)
- う歯の予防と治療率60%達成
- 生活リズムの自己調整(フォーサイト手帳)
- 適切な部活動運営 (休養日の確保)
- 自力登校の推進 (決められた登校手段で登校)

取組6 道徳

目標: 担・学担による道徳授業実施

- 考え・議論する道徳授業の確実な実施 (月2回学年担任が授業実施)
- 道徳参観授業の実施(授業参観年1回)
- いじめを考える週間・人権週間等での授業実施(4月、9月、12月)
- 指導計画の見直し・チームによる情報収集と評価

取組7 特別支援教育

目標: 隔週開催の小委員会充実

- 月2回の特別小支援委員会の充実 (支援が必要な生徒の情報交換・業務確認等)
- 交流授業のサポート体制の徹底 (例:課題への迅速な対応)
- 指導・支援体制の整備(できることを確実に)
- 保護者との連携(面談による合理的配慮の確認)
- 小中連携研修会の有効活用

取組8 安全指導

目標: 事故「ゼロ」の達成

- 命に関する指導の計画的な実施 (例:性に関する指導、情報モラル、SOSの出し方等)
- 校内安全点検の実施と迅速な対応
- 防火防災訓練の実施(地震津波・不審者)
- 歩行者・自転車運転のルール・マナー指導の徹底
- 通学路の安全 確認・危険箇所の広報

取組9 家庭・地域との連携

目標: 広報(新聞・広報誌掲載10回)
 SSVC+と連携した取組実施

- 学校・生徒の頑張りの広報(新聞掲載)
- 学校HP・ブログの定期的更新
- 外部の人材を積極的に活用した教育活動の創造(SSVC+との連携)
- ボランティア活動の推進(地域行事等)
- R7年度市P公開に向けた取組推進

取組10 教職員の資質向上

目標: 年間を通して一点突破の取組、不祥事ゼロ

- 「かごしま県教員等育成指標」を基に、自らの目標を設定し、主体的に研修に取り組む。(年1回校外研修受講)
- 服務規律の厳正確保及び健康の保持増進、働き方の改革を推進する。(1try[個人の行動目標]の実践、定時退校日の確実な実施)